

直近の大阪府債の状況等について

<これまでの経過①>

- ・1月29日 日本銀行が「マイナス金利付き量的・質的金融緩和」の導入を決定
- ・2月1日 大阪府2年債の条件決定 0.001%
⇒マイナス金利導入後初の地方債の新発債
⇒0.001%は地方債における過去最低の水準
- ・2月4日 第9回大阪府財務マネジメント委員会開催
(方向性の議論)
 - 平成28年度発行計画の下期のマスキング
 - 2年債の発行保留について(議論中出た課題)
 - オーバーパー発行について
 - マイナス金利下におけるローンについて
- ・2月16日 大阪府5年債の条件決定 0.001%
- ・2月23日 大阪府債引受シンジケート団会議開催
 - 28年度4月債(市場公募債)以降の、利回りゼロ以下の公募公債条件決定システムへの入力(オーバーパー発行)の可否について発言。
- ・2月26日 フレックス枠を活用し、超長期の定時償還債を発行
 - ⇒30年債 140億円(固定:0.709%~0.800%)
 - ⇒20年債 160億円(固定:0.361%~0.550%)

直近の大阪府債の状況等について

<これまでの経過②>

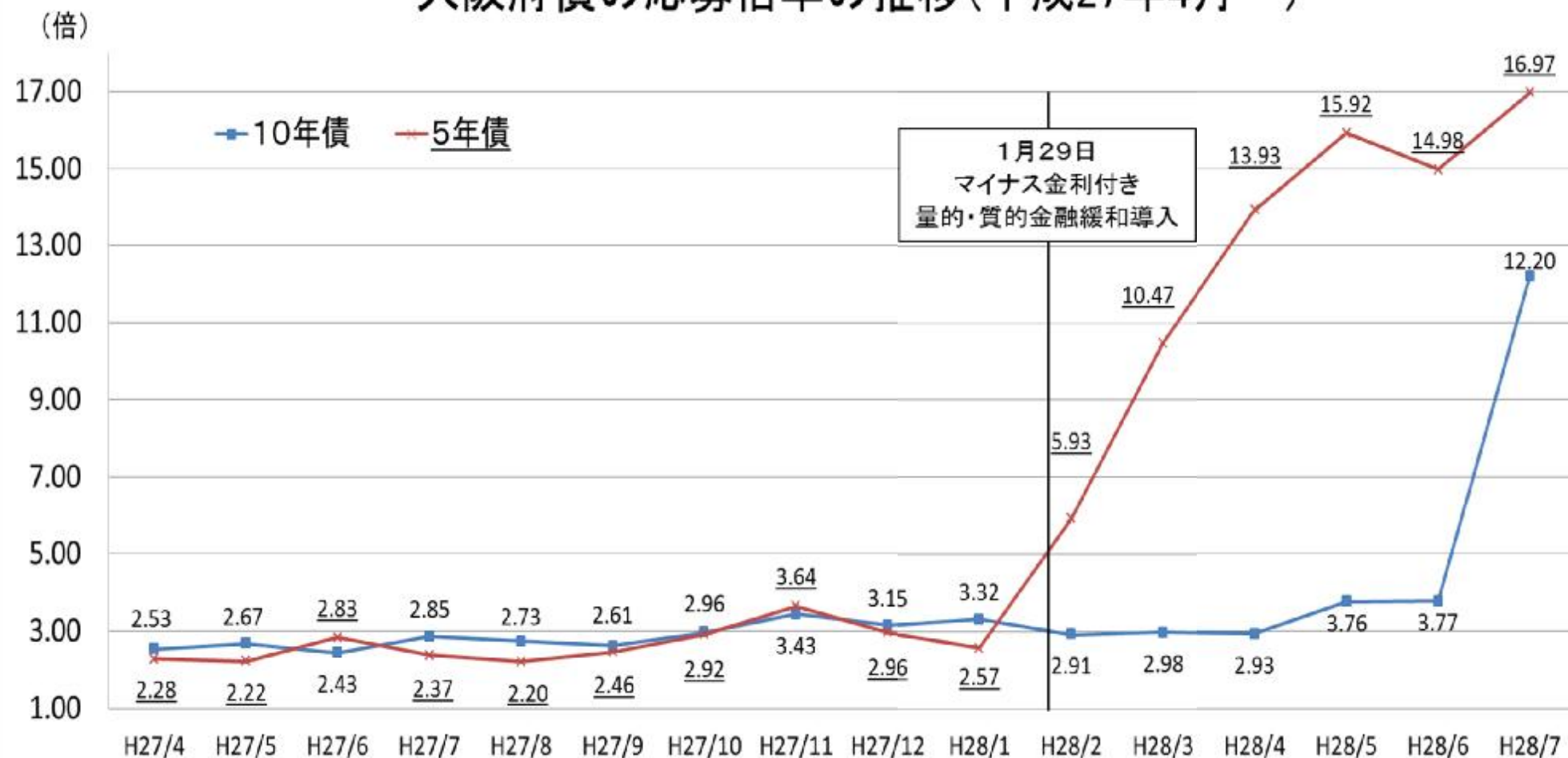
- ・4月～ 2年債の発行保留(フレックス枠への仮置き)
 - ・6月24日 英国のEU離脱の是非を問う国民投票で離脱派が残留派を上回る
 - ・6月28日 フレックス枠を活用し、超長期の定時償還債を発行
⇒20年債 170億円(固定:0.150%~0.192%)
⇒15年債 130億円(固定:0.110%~0.120%)
 - ・7月 6日 大阪府10年債の条件決定 0.001%
 - ・7月11日 銀行等引受債証書(10年)条件提示 0.075%~0.110%
 - ・7月27日 現在までオーバーパー発行の地方債はない
- (予定)
- ・7月28日、29日 日本銀行 金融政策決定会合

(今後の大阪府債について)

- 国債とのかい離、他団体の動き(更なる金利低下)
- 今後のローンのあり方
- 長期的視点、安定調達の観点
- 地方債が日本銀行の買入対象となる場合

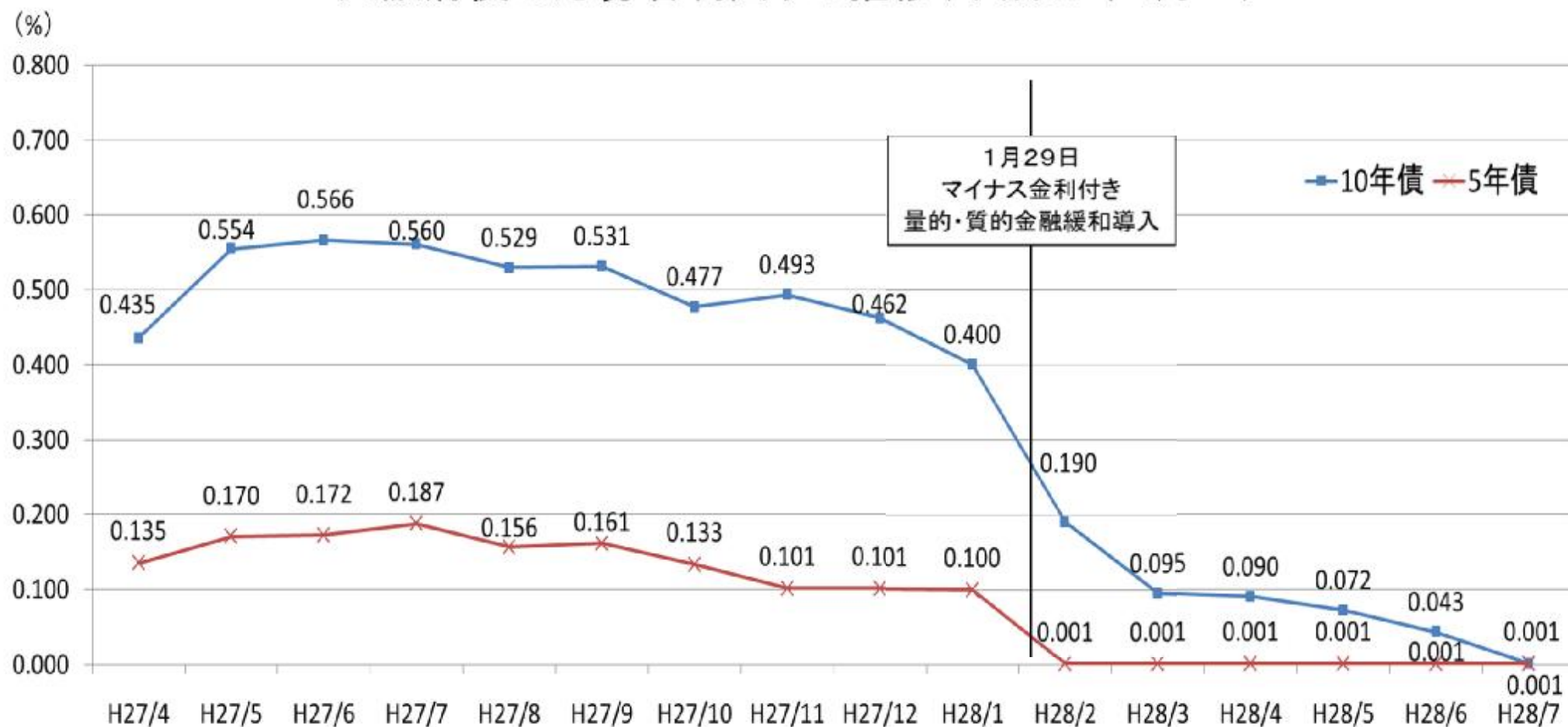
直近の大阪府債の状況等について

大阪府債の応募倍率の推移(平成27年4月～)



直近の大阪府債の状況等について

大阪府債の応募者利回りの推移(平成27年4月～)



直近の大阪府債等の発行状況について

他団体債(7月)の状況について

年限	応募者利回り
30年債	0.260%
20年債	0.180%
10年債	0.050%
5年債	0.001%

※ 応募者利回りは都道府県又は政令市の市場公募地方債のうち条件決定日が最も月初に近いものを表示。